

オオチドメ (大血止め)

名前の意味^{いみ}：大きなチドメグサの意味。チドメグサは、子供が擦り傷に葉を貼って、遊びで血を止めたため。

分類：双子葉類、セリ科、チドメグサ属

(セリ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：ニンジン、パセリ、ミツバ)

好きな場所：日当たりのよい湿^{しめ}った道ばた、水田の畦

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：七角形をつやのある葉、地面をはう茎^{くき}、金平糖^{こんぺいとう}のような実。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：5枚、離弁^{りべん} (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：7—9月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない



こんぺいとう
金平糖

見分け方：チドメグサは、茎^{くき}の先が立ち^た上がらず、葉も小さい (直径 1-1.5cm)。オオチドメの葉は直径 1.5-3cm。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)